

AIONA

世代を超えて受け継ぐモノづくりの永続的な発展

サービス紹介資料

AIONA 株式会社
浅野 友行
2025年11月

AIONA

社名の由来である「**AION**」とは、古代ギリシャ語で「**永遠**」を意味します。人類は、知見や想いを代々受け継いで発展してきました。この伝承を絶えさせることなく、これからも社会が豊かに栄えていくことを支える存在でありたいと考えています。

商号	A I O N A株式会社（アイオナ株式会社）
代表	代表取締役 浅野 友行
事業	AI等の先進技術を利用したソフトウェアの企画、設計、開発、運営、提供
資本金	1,000,000円
設立	2024年10月10日
本社	東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C
WEB	https://aiona.co.jp



チーム紹介



浅野 友行
CEO



スタートアップの経営6年
商社での駐在・留学で海外
経験6年



古波津 勝彦
CBDO



日産自動車で品質マネジメ
ントや経営改革チーム
独立してコンサルティング



大久保 維人
CTO



インドでのCTO経験
海外のハッカソンで受賞や
ギネス記録



浅野 友行

代表取締役

Chief Executive Officer

学歴

2005年

京都大学法学部卒業

2015年

ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院（MBA）修了

職歴

2005年

丸紅株式会社に入社し、石油・天然ガスのトレードや海外の事業投資などに従事

2017年

株式会社トライステージに入社し、社内ベンチャーの株式会社日本ヘルスケアアドバイザーズや子会社のメールカスタマーセンター株式会社の取締役CFOに就任

2018年

R F ルーカス株式会社に参画し 2022年3月から代表取締役社長。RFID（ICタグ）の在庫管理システムなどを開発・提供し、製造・物流・小売などの現場におけるモノの情報を可視化して、生産性向上に取り組む

2024年

A I O N A 株式会社を創業

Accelerator Programs

PLUGANDPLAY

VC

Plug and Play Japan

Mobility Program Summer 2025に採択

intloop

コンサルティングファーム

INTLOOP Ventures

共創型アクセラレータープログラム「IVA」に採択

SET SAIL!

自治体

神戸市 SET SAIL!

神戸市主催「SET SAIL!」プログラムに採択



**AICHI Manufacturing
Acceleration Program**

自治体

愛知県 A-MAP

AICHI Manufacturing Acceleration Programに採択

Aichi CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2025

自治体

AICHI 共創プログラム

AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2025に採択



SOCIAL ISSUE

製造業では技術継承が進まず、
熟練者が引退してモノづくりの品質が危機に直面

熟練者の引退が急速に進み、品質低下が顕在化して不具合や開発遅延が増加

非熟練者



経験していない過去の不具合などが頭に入っておらず、**抜け漏れが生じがち**

熟練者

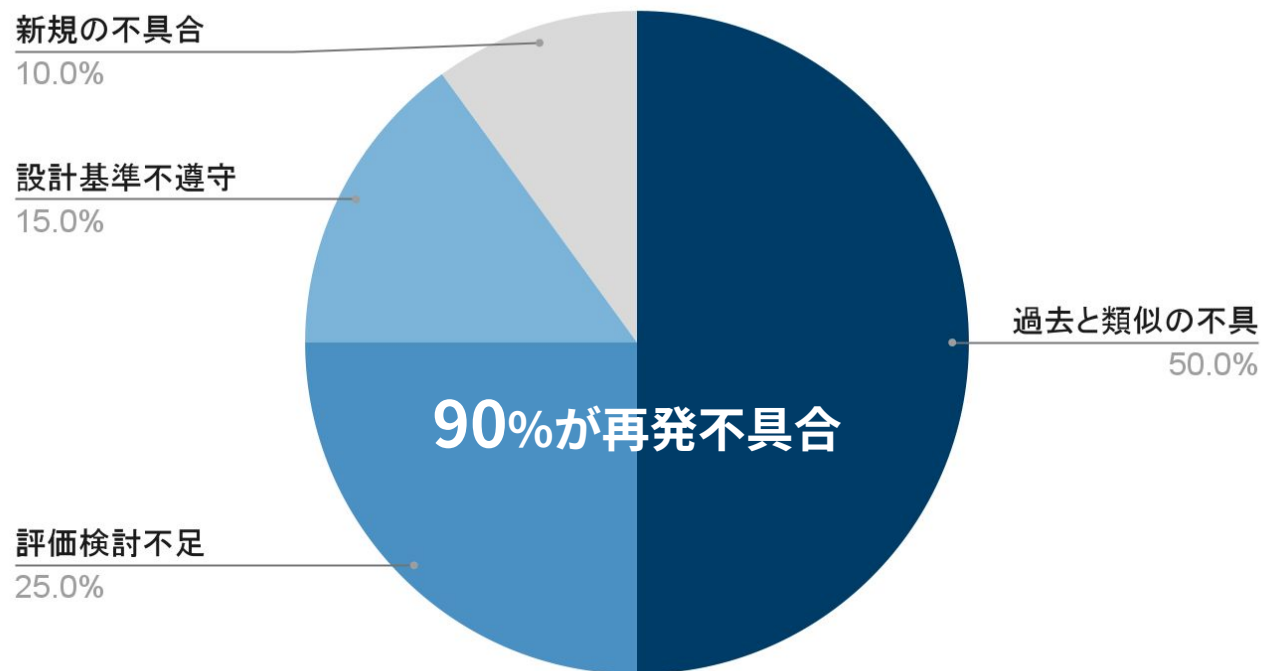


経験や知見から**抜け漏れを指摘して不具合を防止**

依存による属人化



過去のノウハウを活かせば、未然防止できたはずの再発の不具合が多い



技術情報の検索性が悪く、コンテキストが欠けていてノウハウの活用が困難

技術文書・図面



膨大なファイルが散在していて検索性が悪く、**必要な情報が見つからない**

コンテキスト情報



背景や理由などのコンテキストが残っておらず、**設計が暗黙知化**

不具合に伴う負のサイクルが多く現場ですでに顕在化



不具合発生件数の増加

市場に出回った製品のリコールだけではなく、試作段階での不具合が増加することも問題



不具合対応コストの上昇

不具合の対応に割かれた工数や、設計開発プロセスに投じたヒト、モノ、カネが無駄なコスト



開発スピードの遅延

不具合による設計のやり直しやDRで抜け漏れを指摘されて持ち戻ることによって開発が遅延



顧客の逸失

品質が悪化して、開発スピードが遅くなると、競争力が失われて、競合に顧客を奪われるリスク

AIQNA

モノづくりのノウハウを活かして
設計開発を支援する
AIレビューアー



膨大な技術文書と設計の暗黙知を活用し、誰もが効率的で優れた設計を実現

構想設計



基本設計



詳細設計



試作・量産



機能1

技術文書・図面など設計情報のDX化

- 技術文書・図面の自動管理
- 技術文書の自動生成・更新

- コンテキストとの自動紐付け
- 設計情報の検索、調査

機能2

設計プロセスの高度な自動化

設計仕様の策定

流用設計の選定

リスク分析と対策 (FMEA/DRBFM)

検図

社内規程などと異なり、技術文書には生成AIの運用が進んでいない状況

1



原文確認

Q&Aチャットボットは回答を返すものの、参照元の原文を確認しづらく不十分。

2



画像・イラスト解釈

技術文書の画像やイラストを解釈できないため、情報が欠落して内容が希薄化。

3



設計業務対応

単純な検索を超えた設計業務への要望に対し、従来ソリューションでは対応不可。

業務効率化にとどまらない、事業への大きなインパクト



業務効率化

文書検索・作成・更新の短縮
DRの準備・実施時間の短縮



開発期間短縮

DR実施後の持ち戻り減少
試作後の設計やり直し減少



コスト削減

試作の不具合対応費用の減少
補償を含むリコール費用減少



売上向上

製品の品質改善
短納期の実現

情報検索に止まらず、設計プロセス全体の高度な自動化支援が特徴

1



設計特化の専門性

生産技術や設備保全などの領域に比べて、設計を対象としたソリューションが少ない中、技術文書の画像・イラストや図面まで理解するマルチモーダル技術で設計プロセスに特化。

2



設計の暗黙知を形式知化

議事録・資料・メールなどに散在する設計背景を整理し、技術文書へ自動的に落とし込むことで、コンテキスト情報をうまく活用しやすい仕組みを構築。

3



企業を超えたナレッジ活用

取引先間で技術文書が行き交い、各社が個別に非効率に管理してきた情報を、プラットフォーム上で共有することで、サプライチェーンでのナレッジ活用を促進。

AIONA